

令和6年度 活動の方針

本会は、これまで小学校教育の重要性を深く認識し、その充実と発展のため真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。特に、東日本大震災からの13年間、仙台市小学校長会は、組織の力を生かしながら共助の精神で、学校復興に向けて懸命に取り組んできた。

震災から13年が経過していることから、震災の教訓や記憶の風化防止を踏まえた防災対応力の育成を目指していくことが必要である。併せて、少子化、急速な情報化、グローバル化、価値観の多様化、教育のデジタル化など、社会が大きな変化の流れの中にあるこの時期、校長自らが研鑽し、学校経営の責任者として教職員の専門性を高め、資質・能力の向上に努めるとともに教育公務員としての自覚の深化を図っていかねばならない。

こうした中であって本会は、仙台市教育委員会との緊密な連携のもと、会員相互の連帯を強め、たくましく、しなやかやかに自立する子どもの育成を目指し、安全安心で、創意と活力に満ちた小学校教育の充実発展に努めていく。

活 動 の 重 点

- 1 学校経営の充実
 - ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進
 - ・安全安心な学校づくりの推進
 - ・教職員の資質・能力の向上及び評価に関する研修の推進
 - ・教育公務員としての自覚の促進
- 2 創意ある教育課程の編成
 - ・新学習指導要領の趣旨を生かした特色ある教育課程の編成
 - ・SDG s の理念や目標の実現に資する教育活動の推進
 - ・多様性に応じた教育機会の確保
 - ・協働的で一人ひとりに最適な学びの推進
 - ・一人ひとりに向き合える環境づくり
- 3 命と心を守り育む教育の推進
 - ・道徳教育及び命を大切にする教育の推進
 - ・いじめ防止対策、不登校支援等の生徒指導の充実
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた健やかな体の育成
- 4 組織活動の充実、強化
 - ・各専門部活動の充実
 - ・地区活動の充実と地区会相互の連携強化
 - ・対策活動の強化（教職員の働き方、学校施設・設備の整備）
 - ・広報活動の充実（震災の経験やその教訓を活かした仙台版防災教育等の取組について、指定都市及び他県小学校長会に発信する）
- 5 関係諸団体との連携
 - ・仙台市中学校長会、宮城県小学校長会、東北連合小学校長会、全国連合小学校長会、指定都市小学校長会、仙台市小学校教育研究会、宮城県連合小・中学校教育研究会等との連携
 - ・仙台市PTA協議会、宮城教育大学、仙台市弁護士会、その他関係諸団体との連携